

令和3年2月18日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 桑 本 賢 治

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 社会福祉協議会の建物・備品等の町移管について	答弁者 町 長 教育長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 琴浦町社会福祉センター（社会福祉協議会の建物）及び備品等の町移管について、その移管理由と、時期・内容について伺う。</p> <p>(2) 浦安地区公民館を社会福祉センター内に移動する計画があると聞いている。その理由と、時期はいつ頃なのか伺う。</p> <p>(3) また、町管理に移管後の社会福祉センター（建物）及び社会福祉協議会の所有備品等の管理体制についてどのように考えられているのか伺う。</p>	

## 【桑本賢議員 1-2】

質問項目	2. 簡易水道の位置づけ	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 琴浦町内の簡易水道の利用世帯と人数を伺う。</p> <p>(2) 修理する場合、町の補助事業はどのようなものがあるのか。 上水道に移行を希望した場合、可能かどうか伺う。</p> <p>(3) 可能であれば、かなりの地元負担（個人負担）等が発生すると思うが、町の助成についてその考えはあるか伺う。 また、困難な場合、別事業（井戸さく泉等）での対応もあると思うが、費用助成について町長の考えを伺う。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 井 木 裕

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 任期満了に伴う町長選出馬の意向について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	(1) 来年1月に町長の任期満了を迎えます。 町長は次の選挙に再度出馬されますかお伺いします。	

## 【井木議員 2-2】

質問項目	2. 上伊勢集落の地籍調査における人権について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 私有地と町有地の境界線をめぐって争われている地籍調査について、鳥取地方裁判所倉吉支部・松江高等裁判所でそれぞれ町が敗訴しました。</p> <p>最初の裁判から3年経ちますが、いまだにこの問題が解決しておらず、エスカレートしているように感じます。</p> <p>町長は何が原因でこの問題が解決していないと思われているのかお伺いします。</p>	

## 【井木議員 2-3】

質問項目	3. 赤碕地区海岸の防潮林・魚付保安林再生について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) これまで安田地区から赤碕地区の海岸には塩害を防ぐ防潮林や魚付保安林が植えられていました。</p> <p>現在は、松くい虫の影響で枯れてしまっている木を多く見かけます。</p> <p>北栄町や湯梨浜町などの他町では、工事後にも改めて植え直したりするなど丁寧な管理をされています。</p> <p>琴浦町では、今後防潮林・魚付保安林の再生に力を入れていかれますかお伺いします。</p>	

## 【井木議員 2-4】

質問項目	4. 東伯地区内（上郷地区・倉坂集落）の簡易水道について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 上郷地区と倉坂集落では、現在、簡易水道を使っておられます。これは、組合で作っておられるものですが、今後老朽化も予想されます。現在も漏水などのトラブルがあるようです。</p> <p>ライフラインの水道を守るために、このままでは組合が修繕を行うことになりましたが、経済的負担が大きいように感じます。</p> <p>町費で上水道に換えるのが住民にとって良いのではないのでしょうか。町長の考えをお伺いします。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 福本まり子

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 防災対策から見る公共施設等の管理 (防災マップから)	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>防災マップに、この度浸水区域等が示されたが、このことで施設等の改修が必要だと思われたところはどこか。施設の管理計画においても修正が必要と思うが。</p> <p>(1) 浸水区域について <u>蛇行河川…馬込川周辺の対策はあるのか。</u></p> <p>(2) 避難所について 指定避難所…特に学校とあるのは体育館を明記すべき 緊急避難所…耐震対応していない施設を避難所とするには問題がある。 災害は複合的に起きるので洪水・土砂・高潮・地震・津波と分類しての●表記はかえって混乱を招く。</p> <p>(3) 社会福祉センターを避難所としない理由は？</p> <p>(4) 施設等の電話番号を明記すべき ライフラインの切断ともなると役場に連絡 公民館等の公共施設も電話番号を記載すべき。</p>	

## 【福本議員 3-2】

質問項目	2. 過疎地域指定に係るハード・ソフトの整備構想は	答弁者
		町 長
<p>質問要旨 (内容)</p>	<p>過疎地域の指定で、すでに各町村が動いているところだが、わが町（旧赤碕町地域）での整備構想を問う。</p> <p>成美地区公民館の下水対策に難色を示したことや保育園の統合はありきで進められてきたがここに来て、成美地区公民館とふなのえ子ども園の複合施設として整備するとの案が再浮上してきた。地域の人や保護者の不安をおおることばかりだったが、良い方向を望む。</p> <p>当然、過疎債を使っての整備だと思うが、その他にもハード・ソフト、当面の対策と長期計画が必要だがどのような構想をもっているのか。</p>	



## 【福本議員 3-3】

質問項目	3. 各地区公民館とまちづくりセンター（仮称）とは	答弁者
質問要旨 (内容)	<p>町 長 教育長</p> <p>令和元年度（2019年度）の事業レビュー対象事業としてあげられた「地区公民館」であるが、今なぜ公民館でなく「まちづくりセンター」にしなければならないのか、それぞれの地区の人たちには理解が得られているのか。  モデル的に取り組んでいる3地域（以西、古布庄、安田地区）では、どのような成果があがっているのか。  他地区公民館は、どのような進め方を行なうのか。  本来は各地区公民館には、各自治会が結集して組織されており、さまざまな協働活動を行っている。  過去にも、地域づくりでさまざまなコンサルや大学の先生方が意見を述べ、参画してこられた。  しかしこれまでも第三者がどんなにすばらしい青写真を描いても、そこに暮らす人にとっては必ずしもそれが活かされたものとなっていない。  本当にまちづくりセンター計画は町民のための施策なのか。</p>	

## 【福本議員 3-4】

質問項目	4. 何のための機構改革か	答弁者
		町 長
<p>質問要旨 (内容)</p>	<p>役場の組織から「町民生活課」を廃止という半ば強硬な機構改革を行い、総務課は企画情報課を挟んでの配置。いびつで巨大化している。他町ではありえない。</p> <p>その状態になかなか慣れないままに、さらにまた令和3年度に向けて機構改革がなされようとしている。業務が課を行ったり来たり、たらいまわしだ。</p> <p>職員は不安なく職務を遂行できているのか。</p> <p>さらには、教育委員会ですら、本庁舎に移転させようという案が再浮上してきている。</p> <p>あまりにも安易な考えではないか、町民は困惑する。</p> <p>いったい何のための誰のための機構改革か？</p>	

## 【福本議員 3-5】

質問項目	5. 町の男女共同参画推進を問う	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 町の男女共同参画推進施策ではどのような改善効果がみられるのか、第3次参画プランも単に数値目標の成果のみならず、「町の男女共同参画行政推進会議」のなかでどのような議論がなされているのか、成果や抱える課題を具体的に示されたい。</p> <p>(2) 12月定例の質問で、「小さいくせに ぜんぶある。」のキャッチコピー中の「小さいくせに…」の使い方の是非を問うたが、町長は、「癖になる味…」との言い回しをされた。あらためてその時の真意を伺う。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 押 本 昌 幸

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 「カウベル神話」の向こうへ ～カウベルが遺すべきものとその後～ 琴浦町にとってカウベルホールとは何であったのか	答弁者 町 長 教育長
質問要旨 (内容)	<p>琴浦町にとってカウベルホールとは何であったのか過去の経過を振り返り、次の項目についてそれぞれ町長・教育長に伺う。</p> <p>(1) カウベルホールとは、どんな施設（ソフトとハード）であったのか</p> <p>(2) なぜ町は、「JA とうはく」からカウベルホールを買い取らねばならなかったのか</p> <p>(3) その後の維持費はいくらくらいだったのか</p> <p>(4) 指定管理者制度はなぜ中止となったのか</p> <p>(5) 修理費用目的のクラウドファンディングはどうなったのか</p> <p>(6) 「公共施設レビュー」の評価はどうだったのか</p> <p>(7) ふり返って、文化施設カウベルホールとは何だったのか</p> <p>(8) 代替施設に求められるものは何か</p>	

## 【押本議員 4-2】

質問項目	2. 近未来の畜産業の在り方を考える ～肉牛・食鶏・牛乳・卵等～	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 琴浦町の代表的産業の1つ、畜産業の優れたところは何か</p> <p>(2) 昨年末話題となった元農水相の賄賂事件の背景にあった「アニマルウェルフェア（動物福祉）」について伺う。            また、首相の「脱炭素宣言」のもと2050年までに温室効果排出ガスをゼロにする方針を受け肉食を減らす取り組みが注目されているが（オリンピックがあればその流れは加速する）、畜産の盛んな鳥取県、琴浦町・関係団体の取り組みをどうしていくのか。</p> <p>(3) ヴィーガン等も含む脱炭素＝肉食減の流れは決して対岸の火ではなく、全国チェーン店の展開の中で身近なものになってきている。畜産と並行、あるいはバランスをとりながら、従来通りの農業の優位性を維持するためにはどんな施策が考えられ、取り組んでいるのか。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 手 嶋 正 巳

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. とっとり琴浦熱中小学校について	答弁者 町 長
質問要旨 (内容)	<p>次の2項目について、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 町として地方創生交付金事業の3年間が終了した。検証されたと思うが成果について伺う。</p> <p>(2) 今後の方向性について伺う。</p>	

## 【手嶋議員 5-2】

質問項目	2. 農業に対する姿勢について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>次の3項目について、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) JA との連携について伺う。</p> <p>(2) 梨の生産振興について、JA と一体になった就業者の支援をどのように考えておられるか伺う。</p> <p>(3) コロナ禍における農業に対する支援について伺う。</p>	

## 【手嶋議員 5-3】

質問項目	3. 消防団員の減少について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	次の2項目について、町長の考えを伺う。  (1) 全国的に消防団員の減少に歯止めがかからないと聞いている。 琴浦町の現状と対策について伺う。  (2) 消防団員の報酬と出動手当について、低すぎると思うが改定すべきでないか。	



令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 新 藤 登 子

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 「子どもの習い事」の費用の助成について	答弁者 町 長 教育長
質問要旨 (内容)	<p>小学校5年・6年生の全児童対象に、塾やスポーツ教室などに通う費用を助成している市や県があります。</p> <p>助成することにより、学校だけでなく塾なども交えて、地域ぐるみで教育環境を充実させ、少子化対策も視野に子育て世代にアピールしていただきたいと思います。</p> <p>このコロナ禍の中で、収入が減少し、塾に通わせる余裕がない家庭の子どもに学習の機会を広げるためにも、町独自で助成制度を設けて親の背中を押してあげるお考えはありませんか。</p> <p>町長、教育長にお伺いします。</p>	

## 【新藤議員 6-2】

質問項目	2. 校内放送を活用した防災学習の取り組みについて	答弁者
質問要旨 (内容)	<p>「災害は忘れた頃にやってくる」は昔のことです。今は違います。いつ、どこで、何が起きてもおかしくない状態が今日の災害です。</p> <p>今後30年以内に南海トラフ地震が起こると、海岸で最大16メートルの津波が襲うそうです。南海トラフ地震が起こる前後には、西日本では内陸直下型地震が多発すると警告しています。</p> <p>日ごろから地域での訓練に参加し、定期的に家族で安全対策について話し合うことも大事です。親と離れても子どもが自分で判断をし行動ができるように、防災学習は大事だと思いますが、このコロナ禍の中では訓練も思うようになりません。教育現場で校内放送を活用して防災学習に取り組んでいただきたいと思いますが、町長、教育長の所見をお伺いします。</p>	
		町長 教育長

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 青 亀 壽 宏

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 『琴浦町における「人権教育」(平成22年7月1日付)』について	答弁者
		町 長 教育長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 行政は、法令及び条例により運営されるものと認識しているが、『琴浦町における「人権教育」(平成22年7月1日付)』はいかなる性質の文書で、その効力はどのように及ぶのか。</p> <p>(2) この文書はいつどこで「起案」され、誰がいつ「決裁」したのか。</p> <p>(3) 「同和教育」が「人権教育」に変わると誤った認識が生まれる可能性があるというが、同和教育と人権教育はどこが違うのか。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 前 田 敬 孝

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 健康寿命延伸と同時に「健幸アンバサダー」制度の導入について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 令和2年度に予定されていた健康施策の実施状況はどうだったか。特にAIを利用してそれぞれの特性に合わせたメッセージを発信し、不定期受診者への受診勧誘を行うという施策があったが、効果はあったのかどうか。</p> <p>また、目標にしていた特定検診受診率は達成できたのかどうか伺う。</p> <p>(2) 原始的な方法だが、ロコミにより約7割の健康無関心層に健康情報を届ける、「健幸アンバサダー養成プロジェクト」という制度が2017年から始まり、その数は、2020年9月時点で約2万人、最終的には2030年度までに200万人を養成することを目的としている。</p> <p>自治体だけでなく、民間においても、地域貢献及び健康経営の推進を目的に実施している。</p> <p>近隣の自治体では、宇部市、川西市、西脇市が養成講座を開催している。</p> <p>そこで、町でこの養成講座を開催し、より多く地域住民に健幸情報を伝える伝道師を育成し、住民の健康に対する意識の底上げを行ってはどうか。</p> <p>非常事態や災害時に威力を発揮する「地域力」の源にもなりえると思うが、町長の考えを伺う。</p>	

## 【前田敬議員 8-2】

質問項目	2. 農業高校の役割と将来性について	答弁者
		町長 教育長
<p>質問要旨 (内容)</p>	<p>(1) 経産省や経団連が進めている「Society5.0」社会の実現、高付加価値を生み出す「6次産業化」や「予防医療」、「自然エネルギー」などを地域で発展させ、幅広い分野で活躍し、地方創生に直結する人材を育む場所として、農業高校は重要なカギになると考えている。農業高校の現状の認識と将来性について、町長、教育長の考えを伺いたい。</p> <p>また、町内の中学校から県立倉吉農業高校への進学状況や卒業後の進路（大学、専門学校への進学や就業）の概要と、赤碕中学校、東伯中学校における進路指導や、農業高校進学希望の子女に対する保護者の考え方はどうか。現状を教育長に伺いたい。</p> <p>(2) 青森県南部町に和久井農業高校という県立高校があるが、町と議会が協力して応援活動を展開している。その存続のため12,000人余りの署名を集めたり、様々な活動を支援している。倉吉農業高校は倉吉市内にあるが、140年近い歴史があり、農高関係者は町内にも多く、将来的にも切っても切れない間柄にある。しかしその固定観念や通学の不便さもあり、敬遠されることもあるのが実情だ。普通科高校の授業内容に比べると、より時代に即して変化してきたのが農業高校である。</p> <p>そこで、中学校での進路指導の在り方を始め、他の市町と連携して琴浦町ができることはないか、町長の考えを伺う。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 高 塚 勝

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 同和という用語について	答弁者
		町 長 教育長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 人権・同和教育課が設置されているが、同和という用語は町が対象地域とその他の地域を区別し、差別を行っていると考え。同和という用語を削除すべきでは。</p> <p>(2) 文化センター事業は、町が対象地域とその他の地域を区別し、差別を行っていると考え。この状況では、部落問題は解決しない。事業を見直すべきでは。</p>	

## 【高塚議員 9-2】

質問項目	2. 「小さいくせに」について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	(1) 町のキャッチコピーに「小さいくせに ぜんぶある。」とあるが、「くせに」という表現は適当ではない。見直すべきでは。	

## 【高塚議員 9-3】

質問項目	3. コロナ禍対応について	答弁者
質問要旨 (内容)	(1) 災害時、避難所のコロナ禍対応は万全か。 (2) 成人式の今後の予定は。 (3) 役場業務や町主催事業等のコロナ禍に対する対応は出来ているか。 (4) 役場職員の感染防止の対応は出来ているか。	町 長 教育長



## 【高塚議員 9-4】

質問項目	4. 道の駅について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>(1) 「道の駅ポート赤碕」について、空店舗があるのに、なぜ募集しないのか、情報コーナーが2ヶ所あるが統合すべきでは。情報コーナー2階の利用促進をはかるべきでは、赤碕ふれあい広場（通称：たこ公園）の進捗状況は、看板等を全面的に見直すべきでは。</p> <p>(2) 「道の駅琴の浦」について、指定管理者の選定方法は、ドッグランを設置しては、見やすい案内看板（ガソリンスタンド表示等含む）を設置すべきでは、トイレ入口を南側に追加すべきでは。</p>	

## 【高塚議員 9-5】

質問項目	5. 町長・議員選挙について	答弁者 選挙管理 委員会 委員長
質問要旨 (内容)	(1) 前回は大雪等で低投票率であった。投票率アップはどの様に考えていますか、特に大雪、交通弱者、若者対策は。  (2) ポスター掲示場を全廃または大幅に縮小しては。  (3) 全国的に無投票当選が増えているが、立候補者を増やすための啓発を行うべきでは。	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 大 平 高 志

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 行政手続のデジタル化推進について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>政府は、昨年7月に閣議決定した「骨太の方針2020」で行政手続のオンライン化と、テレワーク定着、書面・押印・対面主義脱却などの推進方針が示された。そこで何うが、</p> <p>(1) 本町におけるデジタル化推進の現状は。</p> <p>(2) 行政手続文書において押印廃止対象リストの洗い出し等、取組状況は。</p> <p>(3) オンライン化推進に重要なマイナンバーカードの交付状況はどうか、また交付を増加させる手立ては考えているか。</p>	

## 【大平議員 10-2】

質問項目	2. 里親制度について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	(1) 本町の里親、ファミリーホームの現状は。  (2) 子育て短期支援事業については、本年4月から町の権限で里親等に直接委託できるようになるが、要綱の制定など体制は出来ているか。	

## 【大平議員 10-3】

質問項目	3. 熱中小学校について	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	(1) 破綻した熱中通販の評価は如何に考えているか。 (2) その代替えである企業版ふるさと納税で事業を継続することは、今までの議会答弁と整合性が取れているか。 (3) 「熱中小学校」の取り組みにより人材育成と交流人口の増加は図られたか。	

## 【大平議員 10-4】

質問項目	4. アフターコロナに向け町に求められることは何か	答弁者
		町 長
質問要旨 (内容)	<p>コロナ禍において、各種事業の中止・延期がなされたが、今はその後を見据えた各種の事業展開が求められている、そこで何うが、</p> <p>(1) 成人式が急遽延期されたが、いつ開催するのか。また急に延期とした理由は何か。</p> <p>(2) ニューノーマル（新しい生活様式）を地方創生の追い風にするために何が必要と考えるか。（人口減少、IJU ターン促進を中心に）</p> <p>(3) 町は各種事業を行うことで、紙媒体（雑誌等）を中心にマスコミ等に取り上げられ広く宣伝が出来ていることは一見良いのだが、それを契機にインターネットで琴浦町を検索すると、中には悪意をもった動画も出てくる状態だ。 琴浦町の宣伝が逆効果になっているが、一体どうするつもりなのか何う。</p>	

令和3年2月24日

琴浦町議会議長 小 椋 正 和 様

琴浦町議会議員 桑 本 始

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質問項目	1. 2020年農林業センサス（琴浦版）の分析と今後の地域農業構想について	答弁者
		町 長
質問要旨 （内容）	<p>(1) 2020年農林業センサスから基幹的農業従事者減少の中で琴浦町農業をどのように展開されていくのか、町長に伺う。</p> <p>(2) 地域農業構想論 基幹的農業従事者人口の予測・新規就農者の目標算出 県・普及所・JA・行政・農業者（作物別部会）・県芝・鳥取大学等で「農業振興プロジェクト会議」を設立し、農業ビジョン5ヶ年計画の中で、梨の経営モデル団地等含めた地区座談会（ワークショップ）を開催すべきと思うがその考えはないか町長に伺う。</p> <p>(3) 新規就農者研修制度の見直し（半農半X含む） （例）島根県農業経営課、（公財）しまね農業振興公社</p>	

## 【桑本始議員 11-2】

質問項目	2. コロナ禍子育て支援に国の第3次補正での対応策について	答弁者
		町 長 教育長
質問要旨 (内容)	(1) 学校給食（児童・生徒）の半額・無償化について。 （例）大山町・浜田市・豊後高田市等  (2) 子育て支援で、経済的に苦しい家庭にJAと連携して、食材の支援をしてはどうか。	